

何が水の洗礼であり、何がそうでないか
(新約聖書：マタイの福音書28章19～20節)

<https://www.youtube.com/watch?v=I9JTCfdKOhk&feature=youtu.be>

主が今日、私たちにしてご用意くださる事、本当に楽しみなんです。

今日私たちは、水の洗礼を行います。午後一時半からで、ランチとフェローシップ後、是非お時間を十分に取って、教会前でお目にかかりましょう。今日洗礼を受けられる方は、礼拝後に着替えをされるなら着替えとそしてタオルをご用意ください。今日洗礼を受けたいと思われた方は、今礼拝におられても、大丈夫、間に合います。たぶん、説教の後でいいでしょう。今から洗礼について、水の洗礼とは何かの説教をしますから。また恐らくある意味もっと重要なのが、何が、水の洗礼ではないか？です。

まず初めに2つの理由を見て行きたいと思います。

イエスキリストの全信者・全従者は、少なくとも一度水の洗礼を受ける必要があります。

私は数回、洗礼を受けています。最初のが失敗したからではなく、今からちょっと踏み込んで説明したいと思います。その後、水の洗礼が意味しない2つのことも見て行きます。何が水の洗礼ではないか？です。では始めましょう。

第一番目。

水の洗礼というのは事実、イエス・キリストにおける信者に対して、聖書的命命であります。心を込めて、「マタイの福音書28章19節～20節」にあるこの「大宣教命命」を参照します。イエスが仰っている事を聞いてください。

マタイ28

19「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。...

...そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授け、」

「また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。...

20...見よ。私は世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。」

アーメン。今日、水の洗礼を受けられる方々、皆さんが受けるのは、浸礼の洗礼です。

父と子と聖霊の御名のもとに、皆さんを浸礼（全身を浸水）します。

イエスの御名によって、とさえと言うかもしれません。その理由は、皆さんがイエスの御名によって受洗する必要があるという教えがあるのです。

なので、私は、イエスが言われた事に従います。父と子と聖霊の御名の下に。私は、基本は全てカバーしますから、皆さんは幸せを感じますよ。

第二番目に、信者として、私たち個々全てに、水の洗礼が必要である理由。

それは、内なる確証の外なる表明。

公に、イエス・キリストの「死、埋葬、よみがえり」に対する信仰告白と表明です。

もう少し踏み込んで説明させてください。私が皆さんを水の中に、背を下にして沈め、今日は誰にも、水を撒きかけません。お望みなら、ホースで皆さんに撒きかける事も出来ますが、私が皆さんを、背を下にして水に沈めます。それは、皆さんが救われ、そしてイエス・キリストの死と埋葬と同一化した事の、公な表明と認識

です。

水に沈むことが、その埋葬を イエスが墓に葬られたこととして表しています。

それから、そんな長い間、皆さんを そのまま沈めておきません。

ところで、皆さん、鼻を摘まんでおくのを お忘れなく。いいですね？ よろしければ、私が摘まんでもいいです。きっと嫌だと思うので、ご自分で鼻を摘まんでください。

私が皆さんを水の中に沈め、そして起き上がらせます。

それが、イエス・キリストの復活との一体化です。

イエスが、十字架刑の後、墓に葬られたのと同じです。

イエスが葬られ、墓からよみがえったように、皆さんは、水から起き上がります。

そして皆さんは、イエス・キリストの復活と同一化します。

皆さんは、今やキリストにおいて 新生するのです。よみがえりの命を。

「ローマ人への手紙6章」を見てください。

1節から8節を読みたいと思います。これは、私が皆さんに、本当に必要な聖句箇所の一つで、学生時代にいつも言われたように、「良く考えられる帽子を被りなさい」です。

これを通して考え、私と一緒にこれに専念する事が、皆さんには本当に必要だと思います。

使徒パウロが、ローマの教会に 書いています。「ローマ人への手紙6章1節」です。

ローマ6

1 「それでは、どういうことになりますか。恵みが増し加わるために、私たちは 罪の中にとどまるべきでしょうか。」

2 「絶対にそんなことはありません。罪に対して死んだ私たちが、どうして、なおもその中に生きていられるでしょう。」

3 「それとも、あなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスにつくバプテスマを受けた 私たちはみな、...」

皆さんに、バプテスマという言葉に 心に留めて欲しいのですが、ギリシャ語のBaptizo/バプティツォです。後でここに戻ります。

...私たちはみな、その死にあずかる バプテスマ(Baptized=Baptizo/バプティツォ)を受けたのではありませんか。」

「私たちは、キリストの死にあずかる バプテスマ(Baptism)によって、キリストとともに葬られたのです。...これは違う単語です。ギリシャ語で、Baptismos/バプティスモス です。

「私たちは、キリストの死にあずかる バプテスマ(Baptism=Baptismos/バプティスモス)によって、キリストとともに葬られたのです。...

ローマ6

4...それは、キリストが御父の栄光によって 死者の中からよみがえられたように、私たちも、いのちにあって新しい歩みをするためです。」

5 「もし私たちが、キリストにつぎ合わされて、キリストの死と同じようになっているのなら、必ずキリストの復活とも同じようになるからです。」

6 「私たちの古い人がキリストとともに十字架につけられたのは、罪のからだが減びて、私たちがもはやこれからは罪の奴隷でなくなるためであることを、私たちは知っています。」

7 「死んでしまった者は、罪から解放されているのです。」

8 「もし私たちがキリストとともに死んだのであれば、キリストとともに生きることにもなる、と信じます。」

では、これを通して学びましょう。

私がこのパウロが使った、2つのギリシャ語を指摘した理由は、水の洗礼が何であり、キリストにおいて洗礼を受ける意味を私たちが理解する事に、密接に関係するからです。

一つの単語の意味は、“ちょっと浸す”。

もう一つの意味は、“水の中に浸す”。

パウロは、両方を使って言っています。

私が聞いた最高の喩えは、古代ギリシャの、ピクルスのレシピです。

皆さん、ピクルスをお好きだと思います。私はピクルスが大好きで、特にハンバーガーに入っているやつ。皆さんをお腹すかせないようにしないとイケませんね。

さあ、では、Baptizo=Baptizedという言葉の意味は“ちょっと浸す”です。

Baptizoは、“ちょっと浸す”

Baptismosは、“水の中に沈める”

これはギリシャ人が、衣類を染める際、染料に“ちょっと浸す”という表現で使われました。

Baptismosは、違う言葉であり、“ちょっと浸す”という意味ではなく、“沈める”という意味である。ギリシャ人が、物を沈めることによって、儀式的に物を洗うのを表現するために、使われました。

さて、古代ギリシャのピクルスのレシピに入っていきます。

キュウリを水に浸すなら、Baptizo/バプティツォです。キュウリに変化はありません。

逆に、同じキュウリを使って、酢に沈める=Baptismos/バプティスモスと変化し、

キュウリは、大変おいしい、美味なピクルスに変わります。

私は、この表現で、皆さんの今後ピクルスを食べる楽しみを台無しにしましたね。

では、「ローマ人への手紙」の聖句へと戻り、点と点を繋げてみましょう。

パウロは両方の言葉を使って表現しています。

“ちょっと浸す”=Baptizo/バプティツォでは、肉体的外的に変化はありません。

しかしながら、私たちは、“水に沈める”=Baptismos/バプティスモスを通して、キリストと共に葬られ、イエスの死と復活の中において、私たちは内的に靈的に変えられます。

もはやキュウリではなくなり、今や私たちは、美しく大変おいしいピクルスなのです。

これが私に言える最高の説明。皆さんお分かりでしょう！さらに良くなりますよ。

皆さんの優しさに感謝します。

私たちの古い自身が、キリストと共に葬られる時、

私たちが支配している罪の力に死ぬのです。もうありません。

"No Longer/もはや~ない!" さきほど歌ったように、私の大好きな歌ですが、

『私たちは今や、罪の力に死んだ!』

再度、「ローマ人への手紙6章」でパウロが言っている通り、

「あなたがたは、もはや罪の奴隷でなくなるのです」
それゆえ、「ローマ人への手紙8章1節」の、

ローマ8

1 「こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。」

なぜか？ なぜなら、断ち切られたから。

罪の力が断ち切れ、私たちは、もはや罪の奴隷ではないのです。ここがポイントです。

パウロが、私たちは、もはや罪に、罪の力に支配されることはないと言う時、彼が言っている意味は、罪の意識についてであり、罪の誘惑ではありません。パウロは、もう罪の誘惑に支配されることはない、と言っているのではなく、罪の非難に支配されることはない、と言っているのです。

なぜか？ それは、イエス・キリストが来てくださって、彼が十字架にかけられ、墓に葬られたから。イエスが、罪の全てをご自分の上に引き受け、全てを支払ってくださったから。そしてイエスは、3日目によみがえり、罪と死に打ち勝ってくださったから。

それ故、もはや罪は、神の御霊で新生したクリスチャンには、罪が皆さん方を支配することはもはやないのです。もはや罪の奴隷ではありません。もはや罪が皆さんを非難することはありません。非難されることがないのです。罪の力は、イエス・キリストのよみがえりによって、完全に断ち切られました。罪の力から引き離されたから、私たちは罪の力に対して死んだのです。

今ここで質問です。という事は、私たちはもう、二度と罪を犯さないのでしょうか？

お～皆さんの幾人かは、私が言わんとしていることを考えておられますね。

はい。事実、聖句本文には至る所に、明確な方法ではっきり書いてあります。

ヨハネの手紙1

8 「もし、罪はないと言うなら、私たちは自分を欺いており、真理はわたしたちのうちにありません。」

私たち皆がまだ罪びとであり、天のこちら側でこの腐敗したこの世で肉体にいる限り、私たちは罪を犯します。しかし、それは支払われた！

罪はもはや今、私たちを非難することは無い。罪は断ち切れ、罪の呪いは断ち切られました。

私たちはその束縛から、解放されたのです。罪の奴隷から、罪からの報酬である死から。

キリストが、死をもって、私たちの罪の報酬を支払って下さったのです。

そしてイエスは葬られ、よみがえりました。

よろしい。では、ここからですが、救われるために、水の洗礼が必要であるかないかという質問を良く聞かれることに関連します。

悲しいことに、"Baptismal regeneration (洗礼による新生)" で知られる、有名な偽教義があります。

それは基本的に、水の洗礼が、救いに必要であると教えています。

人は水の洗礼を受けるまで、または受けなければ、新生しないという内容です。

別の言い方をすれば、救われるために、水の洗礼を受ける必要があるという教え。

こんな風に言う不躰をお許しく下さい。言うのさえ、疲れますが、もしも水の洗礼が救いの条件であるなら、また、その後の新生の条件ならば、イエスが間違っていることになります。

イエスが、「完了した。」と言った時、ピリオド=完です。

コンマ、でもセミコロン；でもありません。

「完了した、しかしながら。。。」でもなく、
「完了した、もし～するなら、」でもなく、
「完了した、～する時に、」でもなく、
「完了した。」

ピリオド=完 です。

これを皆さんに考えてほしいのですが、

水の洗礼が救いの為に必要だったなら、それって、”行い”になります。そうでしょ？

別の言い方をすれば、私たち自身の救いというテーブルへと、何かを持っていかなければならない、ということになります。イエスがしてくださった事に追加して。

それって、自分の役割として、私達がまだ何かをしなければならない事を意味します。

すなわち、”水の洗礼”

それはあり得ません。

「エペソ人への手紙2章8節9節」。いつも話していますよね。

エペソ2

8 「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」

その理由は、

エペソ2

9 「行いによるものではありません。だれも誇る事のないためです。」

「ねえ～私がさ～ 救われるためにしたことを知ってる？」みたいな。

皆さん天国を想像できますか？ そんなのは天国ではありえません。

それって、そういう人々が行く 別の場所だと思えます。

そんな風に言ってすみません。それって本当に、笑えることではありませんからね。

「ルカの福音書23章」ここに犯罪者の記述があります。

2人の泥棒と言っていますが、どんな犯罪なのかは分かりませんが、イエスが十字架刑にかけられた時に、救世主イエスの左右両側に磔刑されていた犯罪者たちです。彼らも、この十字架刑という残酷な方法で磔（はりつけ）されていました。

ご存知のように、一人はイエスを拒絶し、他方は、イエスを受け入れました。

受け入れた方が、イエスにこう言いました。

ルカ23

42 「イエス様。あなたの御国の位にお着きになるときは、私を思い出してください。」

皆さん、イエスはその男に何と答えたか聞いてください。

「ルカの福音書23章43節」です。

ルカ23

43 「まことに、あなたに告げます。あなたは今日、わたしとともにパラダイスにいます。」

皆さん、「十字架刑から降りる方法は、まず水の洗礼を受けてからここに来なさい。それからだ！」ではありません。そんな風に言って、馬鹿げた表現をお許しください。

でも.....「ヨハネの福音書3章3節」

私達はこれを良く知っていますね。これは、ニコデモとイエスの間のやりとりです。

イエスが、「ヨハネの福音書3章3節」で仰いました。

ヨハネ3

3「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」

水の洗礼を受けなければ、とありますか？ そんなこと仰っていません。

聖書に、そう書いている人は、この後、私のところに来てください？

敢えて言いますが、水の洗礼は、救いの条件ではありません。

最後に、この点に戻りますので、ちょっとお待ちください。

まずここで、指摘しなければならない疑問。

水の洗礼は、罪の習慣を洗い、清めることなのか？ いいえ違います。ざっくり言わせてください。これは、別の機会の別のトピックなので、主が機会を下さる時にまた話しますが、私たちが清く聖なる人生を生きるための力を 私たちに与えるのは、聖霊の洗礼です。

聖霊の内在と、聖霊に満たされ、聖霊の洗礼を受ける事とは、別物です。

今や、色んな教派・背景から、多くの事が起こっているのを、私は良く知っています。

時間をかけたくはありませんし、今日はその事に触れる時間ありませんが、

"The Gifts of the spirit are For Today"

これは、悲しいことに、別の偽教義で、これが、とんでも無いのです。すみません。でも、大変有名な聖書教師たちです。彼らの名前を出せば、皆さん良くご存知の人たちです。

皆さんの幾人かは、彼らの本をお持ちだと思えます。

それでもまだ彼らは、救われているでしょうし、天国に行きます。

しかし彼らは、"停止主義"を信じています。これは基本的には、聖霊の賜物は、使徒達で終わったという考えです。これは偽教義です。皆さんに、正直に言えば、真理は、それが偽教義であるということ。聖霊の賜物は・・・いつも私は聖霊に突き動かされると、予定のメモから外れますが、

たぶん、これは、私が言うべきことの一つです。

私達が生きるこの世の中は、日ごとに、悪が増大するようで、聖霊の力なしに、クリスチャンがどうやって乗り越えられるのか、私には分かりません。私達は、聖霊の洗礼が必要なのです。私は、そういう素晴らしい特権・誉れを与えられてきました。何年にも渡って。

私が洗礼、水の洗礼を授ける時、人々を浸水して、洗礼すると、起き上がると、まさにその場で彼らは、聖霊によって洗礼されるのです。

それが今日起こっているのですよ！！

なぜそんな風に私を見ているのですか？

たぶんこれをシェアする必要があります。私が育ったのは、事実、私は、自分が本当に良い決断をした時、どうしてそれが分かると思えますか？

唯一の後悔は、もっと早くに決断すれば良かった、と思う時です。クリスチャンになりたての頃、今や、賜物はないと教えられました。どなたかのギアを、攪乱します。ああ、古い言い方になって、すみません。どなたかの、ハードディスクを壊してしまいましたが、にします。

私は当時いつも、「異言は悪だ！」と教えられていました。ですから、「わお、そんなもの要らない。」と
思っていました。

そしてある日の事、決して忘れられませんが、ずっと以前私が本土にいた頃の事です。
私は、まだ比較的若い信者でした。私は人生の本当に辛い時期にいて、打ちのめされて、肉体的に、癒しが
必要で、霊的な力の注入と、リフレッシュし回復することが必要でした。私は地にひれ伏して、神に泣き叫び
ました。そして神に、聖霊をお願いしました。

思考の中に、救世主の言葉が来て、仰ったのが、

「地上の父としてのあなたは、自分の子ども達に良い賜物を どうやって与えるかを知っています。」

マタイ7

10 「子が魚をくださいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。」

マタイ7

9 「あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言う時に、だれが石を与えるでしょう。」

天の父なら尚更、もしあなたが求めるなら、あなたに聖霊を与えてくださいます。

だから私は求め、言いました。「主よ、私を洗礼してください。聖霊で満たしてください。」と。

そして、「ば〜ん!!!」主がしてくださったんです。

瞬間的に、紛れもない力が私を満たしました。

聖霊の力です。永遠に私の人生を変えました。もう振り返りません。

今でさえも、それについて話すと、大変興奮します。

突如として、この新たな力を受けたのですから。私は勝利の中を歩んでいました。敗北ではありません。私
の人生に、聖霊の力を突如として貰ったのです。

「私は勝利の中にいるんだ。この神聖さと大胆さ!!!」「なんと素晴らしい。この大胆さ!」

ところで皆さん、ペンテコステ派のご出身なら、「使徒の働き」に、誰かの上に聖霊が臨む事に関する、5つ
の記述がありますね。

その中で3つは、異言の賜物を伴います。知らない言葉で話します。

異言を話すのと、異言で祈るのは違います。異言で祈るとは、祈りの言語です。

神は私にそれを下さいました。祈りの言語です。絶えず私は、絶え間なく祈ります。

祈りの言語の中で、私を啓蒙し、私を力づけてくれます。これはたぶん、今日 どなたかの為の話でした。

そして、水の洗礼は、皆さんを清めたり 聖なるものにするものではありません。

それが出来るのは、聖霊の力だけであり、聖霊による洗礼だけです。

「ヨハネの手紙第一1章9節」

ヨハネ第一 1

**9 「もし、私達が自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私
たちをきよめてくださいます。」**

皆さんここで、2重の働きが分かります。

「赦し」それも瞬時に。そして、清めて下さるのです。よろしい。

ここからまとめに入り、締めくくります。

水の洗礼は、イエス・キリストの死と埋葬とよみがえりの象徴である。

結婚のシンボルの結婚指輪のようである。

言い換えますと、結婚指輪が、私を結婚させるのではない。
そうではなく、既に結婚しているというシンボルである。
ですから同様に、水の洗礼は、既に救われているというシンボルである。
それは、内なる確証の外なる表明である。

最後に一つ。たぶん皆さんは、今朝お越しになって、「私はもう、水の洗礼を受けたよ。」とっておられる。でも、聖霊によって洗礼を受けたかどうか分からない。

後でお話ししましょうか？

皆さんとそれについて話したいと思います。たぶん、もう一度水の洗礼を受けたくなれると思います。まだお時間を取って、帰宅して衣服を持って戻っていらしてください。

私が皆さんを沈めます！ いやいや、皆さんを水中に沈め、もちろん起き上がらせません。祈りましょう。

天のお父様。感謝します。

主よ。私はこの感覚を受けました。

この礼拝におられる誰かの為だけではなく、たぶんオンラインで見ている誰かの為。

あなたが本当に語られました。聖霊による洗礼について。

たぶん、ここにおられる誰か、オンラインで見ている誰かに、

それが欠けているのかも知れない。

あなたのクリスチャン人生において、何かが違う？ もしかしたら、それかも知れません。

あなたには聖霊が必要です。あなたの人生に、聖霊の力が必要です。

主よ。聖霊をありがとうございます。水の洗礼をありがとうございます。

それは全て象徴であるという事。聖霊の洗礼をも、ありがとうございます。

イエスの御名によって祈ります。

アーメン。

メッセージby JD Farag

牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7